問4(オ)

——線②に関して、このころから、人々の生活様式が大きく変化した。次の表Ⅱと表Ⅲを使って、この変化の内容を、70字以内で書きなさい。解答にあたっては、表Ⅱをもとに家庭用電化製品の普及率の変化を読み取ったうえで、高度経済成長期という語句を必ず用いて書き、表Ⅲからは高度経済成長期以降、家事労働の平均時間がどのように変化しているかを読み取ったうえで、女性という語句を必ず用いて書きなさい。なお、文末は句点(。)で終わり、全体の字数に入れること。

表Ⅱ 家庭用電化製品の普及率
(単位 %))

年	電気 冷蔵庫	電気 洗濯機	電気 掃除機
1960年	10.1	40.6	7.7
1965年	51.4	68.5	32.2
1970年	89.1	91.4	68.3
1975年	96.7	97.6	91.2
1980年	99.1	98.8	95.8

(『消費動向調査』により作成)

高度経済成長期

1954年から1973年までの約19年間

表Ⅲ 家事労働の平均時間と内容別にみた女性の家事労働の平均時間の変化

年	家事労働の 平均時間	炊事	洗濯	掃除
1960年	5時間 1分			
1965年	4時間 36分			
1970年	5時間 4分	2時間 21分	1時間 06分	57分
1975年	4時間 58分	2時間 11分	1時間 05分	53分
1980年	4時間 54分	2時間 14分	1時間 13分	54分
1985年	4時間 42分	2時間 07分	1時間 16分	52分
1990年	4時間 30分	2時間 00分	1時間 10分	50分
1995年	4時間 26分	1時間 59分	1時間 03分	49分

(『男女共同参画白書平成17年版』などにより作成)

(例) 高度経済成長期に、電気冷蔵庫、電気洗濯機、電気掃除機などの家庭用電化製品の普及率が大きく伸びたため、女性の家事労働の平均時間が短縮した。(68字)